

# 深野棚田地区の 景観まちづくり

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です

令和5年度号  
No.3

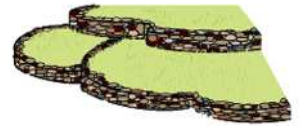
令和5年10月 発行  
松阪市建設部都市計画課



## 松阪市景観計画を進めています。

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

その中で、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様に「もっともっと松阪市の景観を好きになってほしい」との想いで、まちなみ保全に取り組んでいます。



令和5年4月に松阪市景観計画の改定が行われ、深野棚田地区が重点地区（候補）に追加されました。

深野棚田地区一帯の芸術的な石積みの棚田は、地域を代表する景観になるため、この地区の特性や価値を知っていただけるよう、今後も啓発を進めていきます。

※重点地区（候補）に追加されたことによる建築制限などはなく、候補地区指定前と変わりはありません。

## 石の芸術「深野だんだん田」について

深野だんだん田は、まつさか香肌イレブンの1座である白猪山の麓に広がり、山の斜面に120段を数える芸術的な石積みの棚田を見ることができます。先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれ、地区の自慢であるとともに、松阪市を代表する文化的景観として評価されています。

棚田の歴史は、室町時代に当地が北畠氏の重要な拠点であったことで、白猪山の西に「のろし場」があり、見張りに詰めている侍たちの食料確保のため、室町時代中期から江戸時代初期にかけて棚田が開拓されたと伝えられています。



### 地域のブランド米「夏明かり」

また、深野だんだん田で作られる棚田米は、白猪山から湧き出た清らかな水と、高地による昼夜の寒暖差によって磨かれ、地域ブランド「夏明かり」として、松阪市のふるさと納税の返礼品にも選ばれ大変おいしいと好評を得ています。



## 市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来に引きついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

### 【重点地区の位置】



A 通り本町・魚町一丁目周辺地区



B 市場庄地区



C 松坂城跡周辺地区



D 中万庄地区



### 当地区以外の重点地区（候補）を紹介します！

#### G 波瀬周辺地区

街道筋には、旧波瀬本陣や旧脇本陣の建物が残り、宿場町として栄えた往時を偲ぶ歴史的まちなみが今もみられます。



#### J 大石町谷地区

山の斜面に芸術的な石積みの棚田を見ることができます。先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれています。



#### I 柳瀬新田

##### ・大溝新田地区

南勢地域最大の「深蒸し煎茶」の産地として、お茶を栽培する茶畑の文化的な景観が見られます。



#### K 相津地区

黒を基調とした下見板張りの主屋や離れ、土蔵、塀などで構成された建物と大きな屋敷地からなる歴史的景観があります。

